

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元の声

- ・最近の大雨による被害を見ていると、山が近いので我が家も土砂崩れが不安。(地元住民)
- ・土砂崩れが怖いので、工事をしてくれるのを待っている。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 富岡市内匠
- 事業内容: 防護柵工 L=230m 擁壁工 L=70m
- 事業期間: 令和5年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵・擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

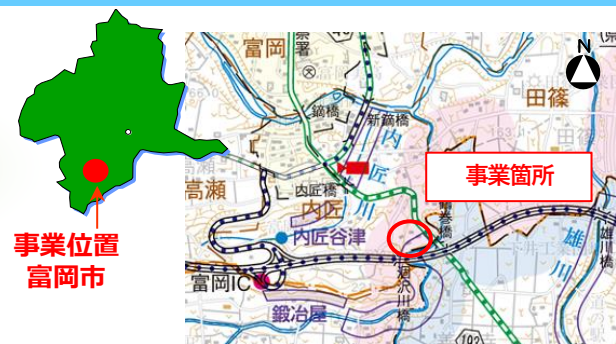


事業後のイメージ

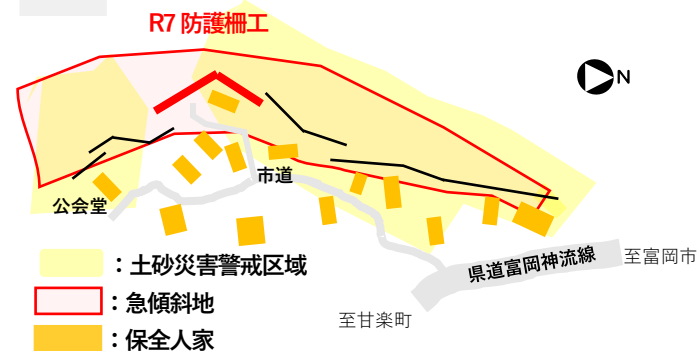
成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	14戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (県道富岡神流線)

実施後(目標)
0戸
0路線

防護柵と擁壁をつくれます



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地取得を実施し、着手可能な範囲から工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了